

世田谷区立教育総合センター開設に伴う施設見学及び意見交換会（概要）

日時：令和4年3月26日（土）

会場：世田谷区立教育総合センター研修室2・3

1. 施設見学

3グループに分かれて、教育総合センターの以下の施設の見学を行った。

1階：えがおの森（区民交流エリア、アトリエ、らぼラボ）、研修室1

2階：研究スペース、研修室2・3・4、簡易スタジオ、ほっとスクール「城山」

2. 事業・機能概要説明

教育総合センターと区内高校・大学・特別支援学校との連携の方向性について、「教育総合センターの主な機能」「連携共同事例」「今後の連携の方向性」などを平沢教育参与（教育総合センター長）から説明した。

3. 意見交換会

テーマ：「教育総合センターと区内高校・大学・特別支援学校との連携の方向性について」

<主な意見>

(1) STEAM教育、スポーツ、文化・芸術、英語教育について

- ・ 世田谷プラットホームの6大学の中で教育プログラムが作れたらと考えている。
- ・ ダンス学科等があり、芸術や表現等のツールとして何かお手伝いできればと思う。
- ・ 英語教育のサポートや海外からの移転者で日本語ができない方への支援等、ボランティア活動などを通じて連携できると感じた。
- ・ 日本の強みとされる数学と科学を伸ばしていければいいと思う。
- ・ 専門家・研究者と教員が動けることが強みなので、現場のニーズをお聞きした上で、どのような形で連携ができるか考えていきたい。
- ・ コロナ禍のスポーツ教育など様々な課題があり、そのような部分で連携できればと思う。
- ・ 環境教育、STEAM教育やSDGsなどで連携できればと思う。
- ・ いわゆる工業高校改革と教育総合センターには親和性があると感じている。
- ・ 教育総合センターのSTEAM教育講座でスーパーサイエンス教室を実施する。施設は実験室というよりワークショップを行うのに良い環境だと感じた。

(2) 不登校、特別支援教育について

- ・ 知的障害や発達障害の老若男女問わずできるスポーツ活動を実施しており、特別支援学校との繋がりも持てればと思う。

- ・ 肢体不自由など特別支援教育課程があるので、今後色々な形で連携していきたい。
- ・ 不登校児の進路を不安に思う方も多いので、ほっとスクールの保護者会等の場に高校も参加できる機会があれば良いと思う。
- ・ 区の不登校特例校と自校の生徒と交流ができればと考えている。
- ・ 就学相談等で早期から保護者に情報提供するかを区の関係部署と連携しながら実施していきたい。

### (3) 地域との連携について

- ・ 地域連携のための組織を再編したので、区との連携を深めていきたいと考えている。

### (4) その他

- ・ 小中学生にとって、どのような学校があるのか高校側が発信しながら、教育総合センターに受け止めてもらい、広めていければと思う。
- ・ 教育総合センターにカフェがあれば、高校生の就労体験ができるのではと感じた。
- ・ 教育総合センターは小中の義務教育関係のハブセンター的な役割が大きいのと思うが、当校施設も活用して機会を提供していけるのではないかと感じた。
- ・ アウトレットやインクルージョンとかオンラインや対面で連携できればと思う。